

# 目次

## 概要

[どのように Codian MCU および IP PBX 間の SIP トランクを設定しますか。](#)

## 関連情報

## 概要

この技術情報は Cisco TelePresence MCU 4203、Cisco TelePresence MCU MSE 8420、Cisco TelePresence MCU 4505 および Cisco TelePresence MCU MSE 8510 製品に関連しています。

## Q. Codian MCU および IP PBX 間の SIP トランクを設定する方法

### A. IP PBX:

1. MCU が使用される 1つ以上のアカウントを割り当てて下さい: 両方にできたいと思えば少なくとも 2 アカウントは自動転送と会議に直接ダイヤルインします ( MCU のための 1つおよび会議 ID のための 1 )。
2. MCU の IP アドレスのこれらのアカウントに呼び出しをルーティングする IP PBX の SIP トランクを作成して下さい。 ( 詳細な使用説明書については IP PBX メニューを参照して下さい。 )

### MCU:

1. 設定 > SIP に行ってください:SIP 登録設定に関しては、登録を『No』を選択して下さい。SIP レジストラ アドレス ブランクを残して下さい。SIP レジストラ型に関しては、標準 SIP を選択して下さいユーザ名に関しては、IP PBX で作成された SIP アカウントの 1つを入力して下さい。これは発呼側ユーザとして MCU がコールを開始するとき使用されます。それはまたユーザが MCU の自動転送に呼出すことを可能にします。IP PBX が認証を必要としたら Username フィールドで入る SIP アカウントのためのパスワードを入力して下さい。認証のない信頼されたピアのように IP PBX が MCU を扱う場合 ( フィールドは空白を残して下さい。 ) 認証が IP PBX で必要となる場合ことに注目して下さい、MCU のためのすべてのアカウントは同じパスワードを共有する必要があります。SIP プロキシアドレス ブランクを残して下さい。発信 転送するに関しては、IP PBX の SIP 転送 プロトコル設定を一致するために TCP か UDP を選択して下さい。設定を保存するために**変更**を『Apply』をクリックして下さい。
2. **設定 > 会議**に行き、SIP 呼び出しに使用するべき可聴周波およびビデオ コーデックを選択して下さい。設定を保存するために**変更**を『Apply』をクリックして下さい。
3. **会議**に行き、会議を選択し、**Configuration タブ**をクリックして下さい。数字 ID に関しては MCU の SIP 設定に使用するものから異なるアカウント数を入力して下さい。**会議**を『Update』をクリックして下さい。
4. 送信コールを IP PBX に作るために、会議に参加要素を追加して下さい。アドレスに関しては、アドレスが MCU の DNSサーバから「[callee@PBX\\_FQDN](#)」解決可能である場合形式「callee@PBX\_IP\_addr」で被呼加入者の完全な SIP URI をまたは入力して下さい。たとえば呼び出し側が 2201 であり、IP PBX FQDN が IP アドレス 10.1.1.1 に「pbx.mycompany.com」なら、そして「2201@10.1.1.1」か「[2201@pbx.mycompany.com](#)」

を入力することができます。コールプロトコルに関しては、SIP を選択して下さい。エンドポイントを『Call』をクリックして下さい。

5. SIP クライアントから MCU に割り当てられた MCU 会議に呼出するために、会議 ID にダイヤルして下さい。たとえば 2200 が会議に割り当てられたら、そしてクライアントからの 2200 にダイヤルすればコールは MCU に IP PBX によってルーティングされる。

## 関連情報

- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)